

自治体部門 優秀賞受賞

うるま市・沖縄市 CKD（慢性腎臓病）・糖尿病性腎臓病
病診連携医登録事業

ちゅらま～み(腎)プロジェクト

上手な医療のかかり方アワードとは



厚生労働省が上手な医療のかかり方への貢献につながる優れた啓発活動や取り組みを表彰するもので、第三回は62団体が応募し、「最優秀賞(厚生労働大臣賞)」1団体、「優秀賞(医政局長賞:6部門)」に10団体が選定されました。



ちゅらま～み(腎)プロジェクトとは
うるま市・沖縄市における新規人工透析患者数の減少を目指し、平成29年11月より、うるま市・沖縄市・中部地区医師会・協会けんぽ沖縄支部の4者で実施している事業です。

具体的な活動としては、
①「CKD・糖尿病性腎臓病登録医(かかりつけ医)」と「腎臓診療医(腎臓を専門に診えている医師)」が連携してCKD・糖尿病性腎臓病の患者さんを支える仕組みづくり
②対象となる市民の方への保健指導
③医療機関や市役所の医療スタッフを対象にした研修会・情報交換会
④事業を推進していくための会議
⑤市民のみならず本事業やCKD・糖尿病性腎臓病についてももっと知ってもらうための啓発活動(減塩料理教室、市民講座など)

などがあります。これらの取り組みは、会議やニュースレターを通して、登録医療機関へ情報共有しています。

このプロジェクトを行うことになった背景には、うるま市、沖縄市の人口10万人当たりの透析人口が国・沖縄県・全国同規模市(人口規模が近い自治体)と比較して高いという状況がありました。さらに、国保総医療費の中で、慢性腎臓病(透析)の占める割合が両市ともに1位となっていました。

健康課題が共通していること、さらにうるま市・沖縄市は隣接しており、両市民が利用している医療機関も両市にまたがることから、うるま市・沖縄市・中部地区医師会・協会けんぽ沖縄支部の4者で協定を結び、事業を行うこととなりました。いつまでも美しい腎臓であってほしいということから「美しい腎臓(を守っていく)プロジェクト」から「ちゅらま～み(腎)プロジェクト」と名付けています。

かかりつけ医(CKD・糖尿病性腎臓病登録医)と腎臓診療医の連携



プロジェクトの成果
令和3年12月現在、32の登録医療機関、かかりつけ医36名、腎臓診療医14名の医師のみならず登録いただき、紹介件数は延べ279件にのぼります。病診連携が図られ、重症化させない仕組みが構築でき、必要な方が適切に医療にかかることのできるシステムが運用されています。

また、平成29年度の事業開始から令和2年度までに、国保加入者の新規透析導入者は、事業開始前に比べ減少しています。



3/25 支えあう 住みよい社会 地域から 新たな民生委員・児童委員決まる



民生委員・児童委員として新たに伊波あかり氏(字具志川:中央左)、稲嶺幸乃氏(字具志川:中央右)が3月1日付で厚生労働大臣の委嘱を受けました。

民生委員・児童委員は地域の身近な相談相手であり、相談内容に応じて各機関と連携して様々な支援サービスへの橋渡し役として活動しています。

3/22 地域活動に尽力 秋の叙勲・総務大臣表彰 伝達式



永年にわたり自治会長や地域活動への功績が讃えられ、米原区自治会 名嘉眞政廣氏(右から2番目)が秋の叙勲(旭日単光章)を受賞。石川東山区自治会 嘉陽勉氏(左から2番目)が自治会等地縁による団体功労者として総務大臣表彰を受賞され、その表彰状および記念品が伝達されました。

4/6 交通事故0(ゼロ)を目指して 春の全国交通安全運動出発式



4月6日から15日まで実施される「春の全国交通安全運動」のうるま地区出発式が健康福祉センターうるま前で行われ、中村市長をはじめ、多くの市民や関係団体等が参加しました。

「亀のようにゆっくり安全運転してください」との想いを込め、信号待ちをしているドライバーに交通安全母の会が準備した亀甲せんべいが配られました。

4/8 笑顔いっぱい、一年生! 市内小学校で入学式



4月8日、清々しい春の空のもと、市内の小学校では入学式が行われ、多くの新一年生が門をくぐりました。

市立赤道小学校には100名の新一年生が入学。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため新一年生と保護者のみの入学式となりました。

保護者が見守る中、音楽に合わせて元気よく入場した新一年生はしっかりと校長先生の式辞を聞いていました。

式典後、教室に戻った新一年生は笑顔いっぱい、これから始まる新生活を楽しみにしている様子でした。

4/8 新消防団長に仲宗根氏が就任 市消防団長辞令交付式



4月8日、中村市長より新たに消防団長となる仲宗根徹氏(左)へ辞令が手渡されました。

仲宗根氏は昭和61年に入団し、平成18年から副団長を務め、今回の就任となります。

中村市長は「今後も、地域防災を担う消防団の活躍を期待しています。」と激励しました。